

高知県内の万葉歌碑・伏越ノ鼻

南 寿宏

万葉集の歌には、国歌大観(1901-1903)により、1 から 4516 までの番号が振られている。歌に登場する地名は、東北地方(宮城・福島)から九州鹿児島までの広範囲にわたるが、歌に登場しない県が幾つかあり、高知県もその1つである(他には、山形県、新潟県、宮崎県等)。しかし、高知県内には3か所に万葉歌碑があるので、本号ではそれらを訪ねていこう。

県内の万葉歌碑は、次のとおり。

- ①安芸郡東洋町野根 ②安芸郡奈半利町乙横町 ③長岡郡大豊町栗生
まずは、①安芸郡東洋町野根から。

①安芸郡東洋町野根伏越ノ鼻(フシコエノハ)

伏超従	去益物乎	間守介	所打沾	浪不数為而	万葉集 卷七
伏越ゆ	行かましものを	守らひに	うち濡らさえぬ	波数まずして	1387
ふしこえゆ	ゆかましものを	まもらひに	うちぬらさえぬ	なみよまずして	作者未詳
伏越を	さっさと行けばいいのに	ぐずぐずして	濡らしてしまった	波を読み違って	

この歌の舞台となった伏越がどこなのかは同定されていないようである。

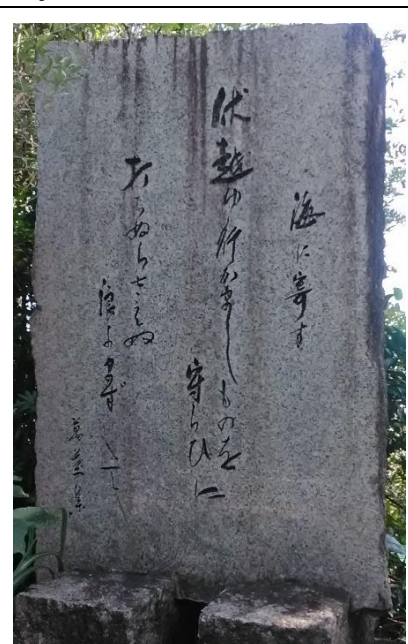
かつて本州から高知を目指す旅人は、和歌山から徳島に渡ったのちに海岸沿いを野根まで行き、野根山を越えて奈半利に出た。この道は土佐藩主の参勤交代の経路でもある。しかし、四国遍路をする者は室戸の3か所の寺に参詣するため、野根から海岸線を通り、伏越を経由した。伏越とは、伏して越える、つまり、地面に手をついて這って行かなければいけないほど険しい道であることを意味する。

野根を過ぎ、道が上りになると突如、踏切が現れる。連続雨量が一定量(250mm)を超えると国道を通行止めにするための設備である。

その先、伏越ノ鼻の国道55号沿線の高知東部交通伏越ノ鼻バス停横には、万葉集巻七1387歌碑がある。また、この付近にはかつて、伏越番所があったという。この伏越ノ鼻が実際に歌に詠まれた伏越であるかは不明だが、前述のように作者も舞台も分かっていないので、地元が地域起こしとして歌碑を設置したものか。

伏越ノ鼻を抜けると山が海岸まで迫り、室戸を目指す旅人は、波打ち際を歩くのを余儀なくされた。このあたりの海岸には長径が30～50cmのラグビーボール形の砂岩礫がゴロゴロしており、ゴロゴロ海岸と呼ばれる。旅人はこれらの上を、波を見計らって急いで歩かねばならないのだが、この巨大な砂岩礫は実に不安定である。乗ると動くので、歩くのは困難を極めた。よって旅人は、波に濡れつつ、転ばないように慎重に歩いたものと、推察する。上の歌では、波の動きを読み、濡れずに通過しようとするものの、結局はずぶ濡れになってしまった旅人の悔しさが読み取れる。

本砂岩は、室戸半島層群奈半利川層と思われる。大きさから、付近の崖が大雨で海岸に崩れ、それらが波のはたらきでゴロゴロ転がり、ラグビーボール状に磨かれたものかと思われる。



上 伏越ノ鼻歌碑
下 ゴロゴロ海岸
(徳島起点 99.9km)
取材 2023/9/28



Pg14-3_som_Pg2	Pg14-3_somas_Pg2	Pg14-3_soss_Pg2	H_sad
付加体	付加体	付加体	堆積岩
形成時代 新生代 古第三紀 始新世 ヤブレスアン期～漸新世 ルベリアン期	形成時代 新生代 古第三紀 始新世 ヤブレスアン期～漸新世 ルベリアン期	形成時代 新生代 古第三紀 始新世 ヤブレスアン期～漸新世 ルベリアン期	形成時代 新生代 第四紀 更新世
岩相 礫岩	岩相 砂岩泥岩互層	岩相 礫岩	岩相 谷底平野・山間盆地・河川・海岸平野
高成層 砂岩	高成層 砂岩	高成層 砂岩	高成層 砂岩
付加体区分 始新世・前期漸新世付加体	付加体区分 始新世・前期漸新世付加体	付加体区分 始新世・前期漸新世付加体	付加体区分 始新世・前期漸新世付加体

高知県安芸郡東洋町地質図 奈半利川層
産総研 20 万分の 1 日本シームレス地質図を編集

室戸半島層群ムロトハントウソウゲン Muroto-hanto group

四国南東部、安芸断層以南に分布する四万十帯の古第三系。最初、鈴木達夫(1932)により室戸層と一括して命名され、甲藤次郎(1961)が室戸半島層群として再定義。甲藤次郎(1980)は、室戸市岩戸～椎名を通る断層以南の室戸半島南端部を漸新世～中新世の菜生(ナエ)層群として分離し、室戸半島層群を、北から大山岬層・奈半利川層・佐喜浜メランジ・室戸層に修正した。(中略)奈半利川層ではフリッシュ型の砂岩泥岩互層が卓越する。(中略)大型化石はまれで、ほとんどがタービダイト相の深海成堆積物。単調な岩相と地質構造の複雑さから各層の正確な層厚は未詳。放散虫化石は始新世前期～漸新世前期を示し、各層で際立った差はない。

[公文富士夫, 地学団体研究会編 新版地学事典]